

2020年12月10日  
農林中央金庫千葉支店  
日本政策金融公庫千葉支店

「日本酪農発祥の地」千葉県安房地域の酪農復興に取り組む  
株式会社 S0-up の創業支援について

農林中央金庫（以下「農林中金」）および日本政策金融公庫（以下「日本公庫」）は、雪印種苗株式会社（以下「雪印種苗」）等と連携し、千葉県安房地域の酪農業の復興に取り組む株式会社 S0-up（館山市、代表取締役：黒川一夫 安藤真人、以下「S0-up」）の創業を事業計画策定や融資・出資を通じて支援しました。この度、S0-up は搾乳牛約 400 頭規模の新牧場を建設し、12月10日に竣工式を開催するとともに、酪農事業を開始いたします。

農林中金および日本公庫は、2017年10月から、雪印種苗とともに S0-up の新牧場建設のための経営計画策定等の支援を行ってきました。また、2020年3月から2020年9月にかけて、創業資金として2行合計で1,372百万円の融資、また、農業法人への投資育成事業を行うアグリビジネス投資育成株式会社や雪印種苗、千葉県みるく農業協同組合と連携し、3者合計で11百万円の出資を行いました。

千葉県の安房地域は、江戸幕府8代将軍徳川吉宗の時代にインドの白牛3頭を輸入し、乳製品の生産を開始した歴史を持ち、「日本酪農発祥の地」と呼ばれています。その後、首都圏における重要な生乳の生産地として栄えましたが、近年は、酪農家の後継者不足、高齢化等が課題となっております。

S0-up は地域の酪農業の現状に危機感を持った地元の酪農家2名とその理念に賛同した獣医師、地元運送会社社員の4名を中心に設立されました。搾乳ロボット等の先端技術を導入した大規模経営により、地域の生乳生産の維持・増加を図るだけでなく、新規就農希望者を受け入れ、将来の安房地域の酪農の担い手育成にも取り組む計画となっております。

農林中金および日本公庫は、今後、運営協議会（仮称）の構成員として、S0-up を経営・技術の両面からの支援を継続いたします。

また、農林水産業者への支援を通じて、農業の成長産業化に取り組むとともに、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

農林中央金庫千葉支店 営業第二班 中村・鈴木	TEL 043-202-5435
日本政策金融公庫千葉支店 農林水産事業 城間・和田	TEL 043-238-8501